

対馬市の国際交流

■ 交流イベント

① 厳原港まつり対馬アリラン祭（8月第1土・日開催）

対馬最大の夏祭りで、昭和39年から「厳原港まつり」として開催。昭和63年よりサブタイトルに「対馬アリラン祭」を追加。

江戸時代に修好や将軍の要職祝賀などの目的で行われていた朝鮮通信使行列を約400人規模で再現している。

舟グロー大会、演芸の夕べ、花火大会なども開催される。

観客数 H17：32,600人（うち韓国人1,764人）

H18：31,000人（うち韓国人1,400人）

H19：28,200人（うち韓国人1,855人）

H20：30,000人（うち韓国人3,000人）

H21：32,000人（うち韓国人1,900人）

② 対馬ちんぐ音楽祭（8月下旬土曜日）

日本と韓国の有名ミュージシャンによる合同音楽祭。「ちんぐ」とは韓国語で「友達・仲良し」を意味する言葉で、対馬でも方言として使われている。平成8年から実施している。

観客数 H17：1,500人（うち韓国人80人）

H18：2,200人（うち韓国人120人）

H19：1,500人（うち韓国人100人）

H20：1,000人（うち韓国人30人）

H21：1,000人（うち韓国人50人）

③ 国境マラソン IN 対馬（7月上旬日曜日）

韓国まで49.5kmの距離にある上対馬町で、日韓のランナー約千人が参加して、マラソンを通じて友好交流を図る。平成9年から開催しており、平成13年4月に「慶州さくらマラソン」と姉妹縁組締結。

参加者数 H17：1,171人（うち韓国人111人）

H18：1,138人（うち韓国人82人）

H19：1,383人（うち韓国人277人）

H20：1,063人（うち韓国人145人）

H21：1,165人（うち韓国人128人）

■ 国際航路（釜山～対馬）

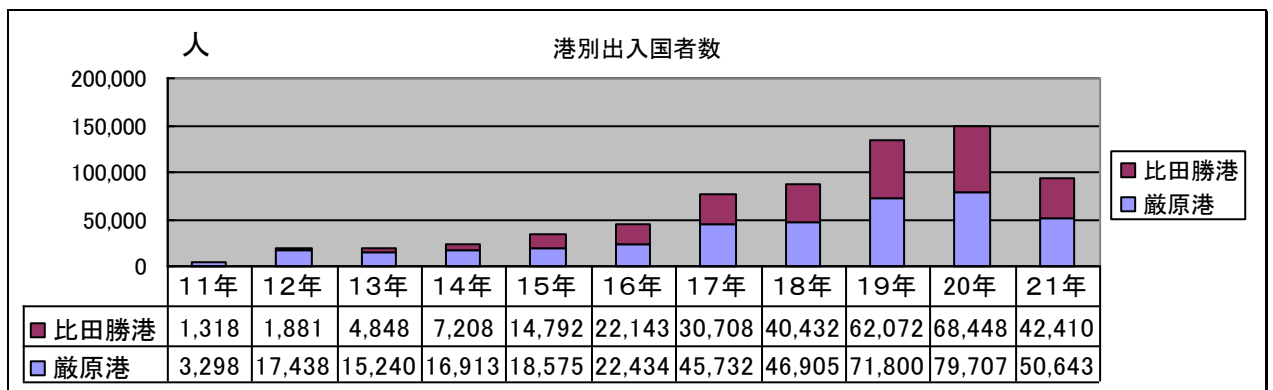
平成 9 年 12 月に厳原港国際ターミナル、平成 11 年 4 月に比田勝港国際ターミナルを開設し航路誘致を行った。

平成 11 年 7 月 14 日から厳原～釜山間で大亜高速海運が高速船シーフラワー一号を不定期で運行し、平成 12 年 4 月から定期航路となった。また、平成 13 年 4 月からは比田勝～釜山間も運行を始めた。

毎週火曜日は運休日となっていたが、平成 22 年 4 月より毎日運行。

現在使用している船「シーフラワーⅡ」は 376 名、「ドリームフラワー」は 300 名が乗船可能。

平成 14 年 8 月には、大亜高速海運資本で「対馬大亜ホテル(72 人収容)」もオープン。



平成 21 年 8 月現在の運賃は、厳原港・釜山港：8,500 円（約 2 時間 20 分）、比田勝・釜山港 7,500 円（約 1 時間 20 分）。（サーチャージ料、ターミナル使用料が別途必要）

■ 国際空路

平成 21 年 7 月 27 日より、KEA (Korea Express Air) による韓国・対馬間のプログラムチャーター便の運行が始まった。韓国大邱・対馬間を週 3 便、約 45 分で結ぶもので、使用する航空機は B190 (Beechcraft1900D) 座席数 19 の小型機である。

平成 21 年 10 月 9 日からは、韓国ソウル金浦空港・対馬間に切り替え運行している。

■ 影島区との交流

昭和 61 年に対馬と韓国釜山広域市影島区が姉妹島縁組を締結。平成 17 年 11 月 16 日には、対馬 6 町が対馬市となったことから、対馬市として再締結した。

両地域の行政に関するテーマについて事例発表や質疑応答を行う「行政交流セミナー」を行っている。

- ・ H18 行政交流セミナー 場所：釜山 テーマ：社会福祉
参加者：影島区 16 名、対馬市 11 名
- ・ H19 行政交流セミナー 場所：対馬 テーマ：防災対策
参加者：影島区 16 名、対馬市 19 名
- ・ H20 領土問題により中止（次年度に延期）
- ・ H21 行政交流セミナー 場所：釜山 テーマ：生涯学習
参加者：影島区 13 名、対馬市 10 名

■ 蔚山広域市蔚州郡との交流

平成 17 年 2 月 1 日に蔚山広域市蔚州郡との間で『文化交流協力に関する意向書』を締結した。同年 11 月 15 日、『友好協力了解書』を締結した。

■ 国際交流員

現在 2 名を採用し、本庁観光物産推進本部に 1 名、上対馬事務所に 1 名配置している。いずれも韓国人。内 1 名は、国が薦める国際交流員の受入事業「JET プログラム」により派遣されている。

市の国際交流関係事務の補助（文書等の翻訳、国際交流事業の協力、韓国訪問客の接遇、イベントでの通訳、市民対象の韓国語講座）を行っている。

■ 対馬釜山事務所

平成 15 年 4 月に旧 6 町が共同出資で財団法人対馬国際交流協会を設立し、協会を通じて、釜山市に対馬釜山事務所を設置した。現地で対馬の観光 PR と日韓交流の拠点となっている。

所長は観光物産推進本部副本部長が兼務。現地職員は副所長と主任の 2 名。いずれも韓国人。

国際交流協会の年間予算額：約 9,000 千円（全額市補助金）
（平成 21 年度）

- ・ 問い合わせ件数 1,476 件
- ・ パンフレット配布数：13,424 部
- ・ HP アクセス数：17,434 件

■ 日本歌謡大会

在釜山日本国総領事館と社団法人韓日文化交流協会と対馬市の 3 者共催で開催。日本の歌を日本語で歌う第 1 回「日本歌謡大会」を釜山市で開催、以

後、毎年開催している。予選・本選があり、銀賞授賞者は、対馬ちんぐ音楽祭にゲストとして出演している。

日本文化に興味を持っている韓国人の若者を対象としている。

過去の（予選）参加者数

2004年:44チーム 2005年:42チーム 2006年:62チーム 2007年:80チーム

2008年:72チーム 2009年:136チーム

■ 日韓交流写真美術展

釜山と対馬の芸術家が出展している展示会。会場は釜山と対馬で交互に開催され、約150点が展示されている。

■ 青少年等国際交流体験事業（上対馬町国際交流協会主催）

日本の食文化や舞踊などの伝統芸能を披露し、日本文化の理解を図っている。

■ 朝鮮通信使縁地連絡協議会（<http://www.enchiren.net>）

平成7年に対馬で結成。朝鮮通信使と縁のある自治体・民間団体などが参加している。

対馬市が会長と事務局を担当しており、現在は17自治体、33団体、10個人の加入により運営している。年1回持ち回りで全国交流会を開催している。

平成15年9月に韓国の「朝鮮通信使文化事業推進委員会」と「共同推進協定書」を締結。

平成19年（2007年）は朝鮮通信使400周年（朝鮮通信使が江戸時代になって初めて訪れた年が1607年）にあたり、対馬市をはじめ、静岡市、下関市、彦根市、呉市、千代田区、瀬戸内市などで記念事業が行われた。

■ 官・産・学の国際交流協定

平成15年7月に、旧上県町、(株)大亜高速海運、釜山外国語大学の三者で締結。三者による国際交流の活性化を図り、国際化・地方化時代に添い地域社会の相互発展に寄与することが目的。平成19年11月に、対馬市として再締結。

毎年、釜山外国語大学校学生による海岸漂着ごみ清掃を実施している。

■ 県立対馬高等学校の国際文化交流コース

平成15年、対馬高校は韓国語や韓国の歴史や文化を学ぶ「国際文化交流コース」を開設。第1期生は平成18年3月に卒業。うち5人が釜山の

釜慶大学校、東亜大学校、釜山外国語大学に進学した。現在、13名が在学中。

釜山情報観光高等学校と姉妹校縁組(平成19(2007)年11月3日)

■ 姉妹校縁組

鶏知中学校 平成5年11月 韓国釜山広域市影島区の新仙(シッソ)中学校

今里中学校 平成12年7月 韓国任實郡只沙面にある只沙(サ)中学校

浅海中学校 平成15年3月 韓国蔚山広域市の熊村(ウチョン)中学校

それぞれ学校訪問やホームステイなど、双方の文化や習慣を学んでいる。

■ 民間団体の姉妹縁組締結

- ・ つしまライオンズクラブと釜山東洋ライオンズクラブ 昭58. 2. 21
- ・ 対馬ロータリークラブと巨済ロータリークラブ 平4. 11. 26
- ・ つしまハムクラブと釜山ハムクラブ 昭59. 11. 17

■ スポーツ交流

- ・ 上県町バドミントンクラブと影島区バドミントンクラブ 平成10年～
- ・ つしまやまねこクラブと釜山大学OBラグビークラブ 平成14年～
- ・ 慶州ソフトテニス連合会と対馬ソフトテニス連盟 平成15年～

■ ホームステイ事業

- ・ 厳原町は釜慶大学校、上対馬町は釜山韓日文化交流協会とそれぞれ提携し、毎年、学生や社会人を対馬に招きホームステイを実施している。

平成21年度 受入人数

厳原(つしまハッピーステイの会):17人

上対馬(上対馬町ホームステイ友の会):15人

- ・ 平成20年度からは、ソウルの韓国航空専門学校のホームステイ・日本文化体験事業も受け入れている。(20名程度)

■ 観光客誘致宣伝事業

韓国への対馬観光情報発信は、主に釜山事務所から行っている。HP開設、メルマガの発信、観光パンフレット・ポスター・DVDを韓国内エージェントへ配付したり、対馬観光への問い合わせ等に対する総合窓口としている。

- ・ 平成19年度 バス車体側面広告他
- ・ 平成20年度 ガイドマップ、パンフ、ポスター、DVD等作成、韓国内エージェントへ配付

- ・平成 21 年度 対馬観光物産協会と共催で、ソウルで観光説明会（12 社 27 名）、釜山で説明会・商談会を開催、島内観光関係事業者と韓国エージェントの意見交換会（16 社・18 名）、釜山市内地下鉄車内広告を実施。

■ 韓国人観光客の経済効果（平成 20 年 12 月長崎県統計課分析資料抜粋：H19）

H19 韓国人観光客数：65,490 人

島内消費額：2,164,704 千円

主な消費額

交 通 費：169,938 千円

宿 泊 費：494,935 千円

飲食・娯楽費：681,206 千円

土 産 品 代：818,625 千円

生産誘発額：2,894,113 千円

雇用者所得誘発額：873,017 千円

就業誘発数：342 人（うち雇用誘発数：266 人）